



古川文雄議員

- 水田農業振興について
- 学校教育について
- 高齢者福祉について
- 女性の活躍のできる場の創出について

一般質問

産業課長 米の直接支払交付金は廃止となりますが、飼料用米をはじめとした新規需要米への取り組みをさらに推進することで、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接交付金、産地交付金の活用など、各種交付金を活用し農業経営の安定が図られるよう支援して参ります。

質問 平成30年度以降の油田計画の取組み方針はどうなっているか。

産業課長 菜種もエゴマも生産者がほとんどいない状況のため、当面は機械化による省力化や多収栽培技術を推進し、毎年1〜2ha程度の作付増をめざし、作付状況によっては機械化導入等も視野に入れ検討していきたいと考えております。

質問 減反政策の廃止による農業経営に与える影響について町の考えは。

質問 平成29年度の学力調査の結果について。

教育長 昨年11月に、小学5年生と中学2年生で実施された福島県学力調査の結果を基に申し上げます。

質問 この学力調査では、「目標値」が設定されており、「目標値」は、学習指導要領に示された内容について、正しく答えられると期待した児童生徒の割合となっています。

質問 この目標値と比較した本町の結果につきましては、小学生では、国語は、目標値より高く、「書くこと」の伸びがみられました。理科は、目標値と概ね同じ程度でしたが、出題領域による点数のバラつきがみられました。算数は、出題領域全般で目標値を下回りました。これは、算数の「知識」が低いため、基本事項の定着に課題があるということが分かりました。

質問 中学生では、国語・数学・理科・英語のどの教科も、目標値を上回っており、特に、国語の「話すこと・聞くこと」

質問 田んぼアートの来場者の町内外の比率はどれくらいか、また、経済効果はあったのか、今後有料化は考えられないか。

産業課長 平成29年度にきらきらアートを含め32,771人となり、平成29年8月23日には累計10万人を達成したところで、平成28年度の統計から約18%が町内で82%が町外からで内15%が県外からの観覧者との統計となります。

質問 経済効果について具体的な数値はお示しできませんが、商工会が作成したグルメマップ掲載の飲食店で使える50円商品券を先着5,000名に配布し、飲食店43店にアンケートを実施したところ、約3割が売上増となったとの回答があり着実な経済効果が出始めていると考えます。

質問 有料化については、関係機関と調整を図り調査研究をして参ります。

質問 まちの観光振興における岩瀬牧場との連携及び町営化は

質問 学校教育において今後の学力量向上策をどう考えているか。

教育長 次期学習指導要領を見据え、授業のポイントを示した、ふくしまの「授業スタンダード」による教師の指導力の向上と授業改善を図って参ります。また、ふくしまの「家庭学習スタンダード」も活用して、児童生徒だけでなく、保護者にも周知徹底して、家庭学習を進められる児童生徒の育成をしていきたいと考えています。

質問 高齢者の外出の機会の創出をどう考えているか。

福祉こども課長 外出が困難な高齢者については、利用の要件はありますが、社会福祉協議会で運営している「おでかけ支援ゆうあバス運行事業」を利用して頂ければと考えています。

質問 今後のまちづくりにおける更なる女性の参画をどのように考えているか。

町長 「男女共同参画社会基本法」に基づき、各種団体や組織などで、行政計画の検討にあたって女性の参画を実施しております。今後一層実現するためのまちづくりとして、保育機能の充実、子供の居場所づくりなど、児童福祉施策や都市づくり施策などと連携して、子育て環境の整備を図って参ります。また、新年度予算には、「女性農業者活動組織育成事業」を新規事業として女性農業者同士の連携、積極的な農業経営参画、農業イメージアップなどを図るための事業を展開して参ります。



長田守弘議員

- 交通渋滞対策について
- 住みやすい街づくりの施策について
- 鏡石町の観光振興について
- 産業振興について

一般質問

都市建設課長 国道4号線は拡幅工事以前から1日3万台以上の自動車通過しており、県内でも最も高い混雑度であり、円滑な走行が阻害されている状況で、朝夕の通勤時を避け、交通規制時間を短くすることに努めながら交通渋滞対策を行っており、国に対し早期全線開通への要望活動を実施してまいります。

質問 4車線化後の信号機設置箇所と信号機増加によるその後の渋滞対策はあるのか。

都市建設課長 現在、拡幅工事区間には7箇所の信号機設置交差点があり拡幅工事により、中央分離帯が設置されますので、東西に横断通行できる交差点は、現在の7箇所を除き根本石油南側の交差点、不時沼地内セブンイレブン前の交差点、イオンスーパーセンター南側の

質問 空き家の実態調査と今後の対策について問う。

総務課長 現在、約100軒程度と掌握しております。所有者に対して空き家対策推進法の趣旨を文書にて周知しアンケート調査も同時に実施して、その後の活用法について研究したり、空き家バンク制度等についても調査研究して参ります。

質問 田んぼアートの来場者の町内外の比率はどれくらいか、また、経済効果はあったのか、今後有料化は考えられないか。

産業課長 平成29年度にきらきらアートを含め32,771人となり、平成29年8月23日には累計10万人を達成したところで、平成28年度の統計から約18%が町内で82%が町外からで内15%が県外からの観覧者との統計となります。

質問 経済効果について具体的な数値はお示しできませんが、商工会が作成したグルメマップ掲載の飲食店で使える50円商品券を先着5,000名に配布し、飲食店43店にアンケートを実施したところ、約3割が売上増となったとの回答があり着実な経済効果が出始めていると考えます。

質問 有料化については、関係機関と調整を図り調査研究をして参ります。

質問 まちの観光振興における岩瀬牧場との連携及び町営化は

質問 企業誘致についての考えを問う。

産業課長 企業立地セミナーや東京事務所などに情報を提供し企業誘致活動を図っており、既存企業の更なる発展も重要であり各種情報提供にも重点を置き、企業誘致と既存企業の支援に努めて参ります。



渋滞対策が待たれる蒲の沢交差点

質問 国道4号線拡幅工事による交通渋滞対策はしているのか。

都市建設課長 国道4号線は拡幅工事以前から1日3万台以上の自動車通過しており、県内でも最も高い混雑度であり、円滑な走行が阻害されている状況で、朝夕の通勤時を避け、交通規制時間を短くすることに努めながら交通渋滞対策を行っており、国に対し早期全線開通への要望活動を実施してまいります。

質問 現在の蒲の沢交差点の渋滞対策は考えているのか。

都市建設課長 国道拡幅工事に合わせ町道接続工事を平成30年に着手し右折レーンを設け交差点走行がスムーズになるよう改良して渋滞の緩和につながることを期待しております。

質問 田んぼアートの来場者の町内外の比率はどれくらいか、また、経済効果はあったのか、今後有料化は考えられないか。

産業課長 平成29年度にきらきらアートを含め32,771人となり、平成29年8月23日には累計10万人を達成したところで、平成28年度の統計から約18%が町内で82%が町外からで内15%が県外からの観覧者との統計となります。

質問 経済効果について具体的な数値はお示しできませんが、商工会が作成したグルメマップ掲載の飲食店で使える50円商品券を先着5,000名に配布し、飲食店43店にアンケートを実施したところ、約3割が売上増となったとの回答があり着実な経済効果が出始めていると考えます。

質問 有料化については、関係機関と調整を図り調査研究をして参ります。

質問 まちの観光振興における岩瀬牧場との連携及び町営化は

質問 企業誘致についての考えを問う。

産業課長 企業立地セミナーや東京事務所などに情報を提供し企業誘致活動を図っており、既存企業の更なる発展も重要であり各種情報提供にも重点を置き、企業誘致と既存企業の支援に努めて参ります。

質問 今後のまちづくりにおける更なる女性の参画をどのように考えているか。

町長 「男女共同参画社会基本法」に基づき、各種団体や組織などで、行政計画の検討にあたって女性の参画を実施しております。今後一層実現するためのまちづくりとして、保育機能の充実、子供の居場所づくりなど、児童福祉施策や都市づくり施策などと連携して、子育て環境の整備を図って参ります。また、新年度予算には、「女性農業者活動組織育成事業」を新規事業として女性農業者同士の連携、積極的な農業経営参画、農業イメージアップなどを図るための事業を展開して参ります。